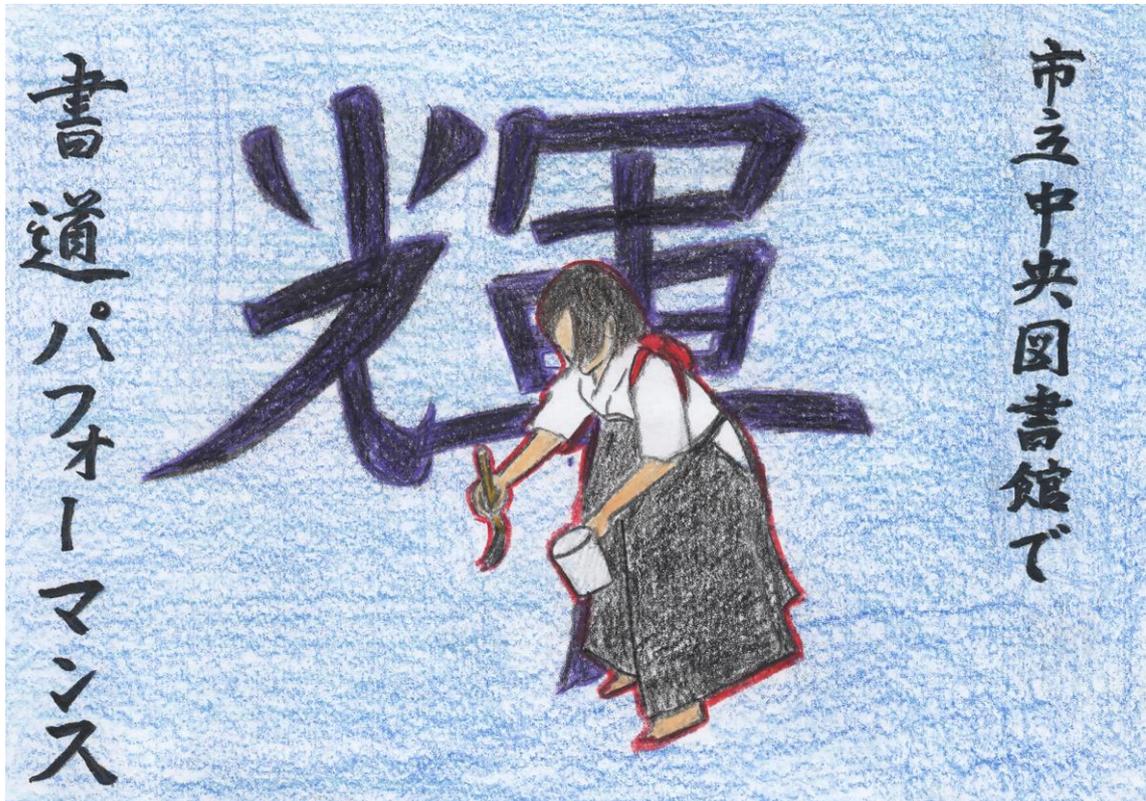


11月15日（金） 新聞掲載

（11月10日 書道パフォーマンス）

11月10日に「書道パフォーマンス in 中央図書館」が開催されました。
本校と神栖高校の書道部が参加しました。本校生は力強く「輝」の文字を描きました。
年内まで中央図書館に公開されています。
1月からは正月をテーマにした作品が飾られる予定です。



堂々とした演技を披露した波崎高の書道部＝神栖市大野原



神栖市立中央図書館

高校生ら力強く「輝」

静かな図書館が一変、神栖市大野原の市立中央図書館で10日、「書道パフォーマンス」が催され、市内の高校生が意気込んで書道を披露した。図書館利用が促進している中高生世代に館を積極的に利用してもらうのを企画。高校生のはつとどし演技が来館者を驚かせた。

書道披露 若者の利用促す

企画に参加したのは、波崎高書道部4人と神栖書道部3人の部員。自由テーマと正月をテーマとした作品をそれぞれ用意してきた。同部顧問の山本浩一先生は、床と壁に貼られた二色紙に、墨で描かれた舞臺が出現。静かな館内に賑やかな音楽が流れ、高校生が勢いよく筆を振った。

波崎高生は自由テーマに「片思いをする女の子」を選び、力強い「輝」の文字を完成させた。神栖高生は「前に踏み出さない人志を褒めたい」のテーマで「おまかせ」の歌詞を紙に書いて披露した。正月のテーマに、アニメソングに合わせて来年の抱負を書いた作品や、令和の出典となった万葉集の和歌を描いた作品も披露され

た。司会進行は神栖高の演劇部員が担当した。波崎2年の多田果重さん(16)は「図書館をよりよくなりたい」と思ったので、良い思い出があったと笑顔。神栖高年の前川かえでさん(16)は「発表の場が少なく、良い機会に参加を決めた。またやってみよう」と達成感をにやにやとした。

出演3館長は「高校生が元気が出るライブパフォーマンスを見て、他の来館者にも図書館を活用してほしい」と話した。四つの作品はオンラインスボルの天井に吊るして公開される。自由テーマの2作は2日から年明けまで展示し、正月テーマとした2作は1月から始める。【松浦かえり】